

6680 プリントサーバ

TCPLink 接続

Ver.5.06-00

リリースメモ

Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

## 目次

[Ver.5.06-00 での変更内容].....	1
---------------------------	---

[Ver.5.06-00 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	以下の OS に対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2022 Standard</li> <li>・ Windows Server 2022 Datacenter</li> </ul>	機能追加	システム全般
2	以下の OS を動作対象から削除 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2012 Standard</li> <li>・ Windows Server 2012 Datacenter</li> <li>・ Windows Server 2012 R2 Standard</li> <li>・ Windows Server 2012 R2 Datacenter</li> </ul>	仕様変更	システム全般
3	バージョン情報に、アップデート情報としてパッチの管理番号を表示する機能を追加	機能追加	システム全般
4	編集形式「Windows プリンタドライバ」、または「Windows プリンタドライバ(LBP)」に、CODE39 のバーコード印刷（範囲指定なし）機能を追加	仕様変更	プリンタ セッション
5	エミュレータのプロパティ「通信設定」で、ゲートウェイ種別の選択内容を変更 また、ゲートウェイ種別で"その他"を選択時に、SYSREQ/ATTN の動作を選択できる機能を追加	仕様変更	ツール
6	マクロ再生の開始、およびマクロ記録の開始時に、前回指定したフォルダを開くように仕様を変更	仕様変更	マクロ
7	プリントジョブスケジューラの起動に失敗した場合、イベントログが出力されない現象を修正	バグ修正	システム全般

No	概要	VerUp 区分	変更区分
8	「SHIFT」+「F1」キーの押下で状況依存ヘルプを表示した場合、対象をクリック時に「応答なし」になる現象を修正	バグ修正	システム全般
9	別売のCJS 拡張漢字フォントをインストールしている環境で、プリントサーバのアンインストールを行うと、CJS 拡張漢字フォントのフォント登録が解除される現象を修正	バグ修正	インストーラ/ アンインストーラ
10	Windows のスタートアップに登録した場合、起動できないことがある現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスペローラ
11	プリントサーバをサービス登録後、「Host Link Explorer」サービスがエラーとなり、セッションが起動できないことがある現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスペローラ
12	スタイル設定でディスプレイセッションのツールバーのスタイルを変更した直後、縦方向に1つのツールしか表示されない現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
13	ローカルコピー時にエラーが発生した場合、「セッション番号：0」の余計なイベントログが出力される現象を修正	バグ修正	ローカルコピー
14	ジョブクローズタイマーが動作すると、プリンタセッションでアプリケーションエラーが発生する現象がある現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
15	エミュレータ監視ツールのプリンタ出力先とは異なるプリンタに印刷されることがある現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション

No	概要	VerUp 区分	変更区分
16	UPF 設定ツールで以下の設定を変更後に、インストール後から変更されていない「UPFTBL32.UPF」ファイルを読み込むと、読み込み前の設定内容が表示されたままになる現象を修正 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメント欄</li> <li>・UPF 使用数</li> <li>・UPF パッドオートサイジング</li> <li>・UPF パッドコメント表示</li> </ul>	バグ修正	ツール
17	エミュレータのプロパティの接続先設定のリストで、行をダブルクリックしても通信設定画面が開かない現象を修正	バグ修正	ツール
18	エミュレータのプロパティ「通信設定」で、「F1」キー、または「SHIFT」+「F1」キーを押下するたびに状況依存ヘルプの表示位置がずれる現象を修正	バグ修正	ツール
19	エミュレータ監視ツールで表示内容を更新するとアプリケーションエラーになることがある現象を修正	バグ修正	ツール
20	コードテーブル設定のオンラインヘルプ、および状況依存ヘルプの誤記を修正	バグ修正	ヘルプ

No.7	プリントジョブスケジューラの起動に失敗した場合、イベントログが出力されない現象を修正
発生条件	プリントジョブスケジューラの起動に失敗した場合。
障害内容	イベントログが出力されない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.8	「SHIFT」 + 「F1」 キーの押下で状況依存ヘルプを表示した場合、対象をクリック時に「応答なし」になる現象を修正
発生条件	「SHIFT」 + 「F1」 キーの押下により、マウスカーソルに「？」が表示された状態で、状況依存ヘルプの表示対象をクリックした場合。
障害内容	以下のプログラムがフリーズする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「プリンタセッション」</li> <li>・「プリントジョブスケジューラ」</li> <li>・「マクロコントローラ」</li> <li>・「UPF 設定」</li> </ul>
アップデート 未実施時の 回避策	ツールバーの「↑?(ヘルプ)」 ボタンを使用して状況依存ヘルプを表示する。

No.9	別売の CJS 拡張漢字フォントをインストールしている環境で、プリントサーバのアンインストールを行うと、CJS 拡張漢字フォントのフォント登録が解除される現象を修正
発生条件	CJS 拡張漢字フォント バージョン 3.01-01 がインストールされている環境で、アンインストールした場合。
障害内容	CJS 拡張漢字フォントが利用できない。
アップデート 未実施時の 回避策	CJS 拡張漢字フォント バージョン 3.01-01 を一度アンインストールし、再インストールする。

No.10	Windows のスタートアップに登録した場合、起動できないことがある現象を修正
発生条件	Windows のスタートアップにホストリンクエクスプローラ、またはセッション起動のショートカットに登録した場合。
障害内容	Windows のログオン時に自動起動ができない。
アップデート未実施時の回避策	手動による起動。

No.11	プリントサーバをサービス登録後、「Host Link Explorer」サービスがエラーとなり、セッションが起動できないことがある現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2019 以降を使用</li> <li>・ ローカルセキュリティポリシーのセキュリティオプションで「ユーザアカウント制御: 管理者承認モードですべての管理者を実行する」を「無効」に設定</li> <li>・ プリントサーバをサービス登録で使用</li> </ul>
障害内容	セッションが起動できないため、印刷業務が行えない。
アップデート未実施時の回避策	「ユーザアカウント制御: 管理者承認モードですべての管理者を実行する」を「有効」に設定し、OS を再起動後、プリントサーバをサービス登録する。

No.12	スタイル設定でディスプレイセッションのツールバーのスタイルを変更した直後、縦方向に1つのツールしか表示されない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディスプレイセッションで、ツールバーをボタンが縦に並ぶように配置</li> <li>・ スタイル設定でディスプレイセッションのツールバーのボタンを追加、または削除</li> </ul>
障害内容	表示されていないツールをツールバーから起動できない。
アップデート未実施時の回避策	ディスプレイセッションで、ツールバーをボタンが横に並ぶように配置する。



No.13	ローカルコピー時にエラーが発生した場合、「セッション番号：0」の余計なイベントログが出力される現象を修正
発生条件	ローカルコピー時にエラーが発生した場合。
障害内容	「セッション番号：0」の余計なイベントログが出力される。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.14	ジョブクローズタイマーが動作すると、プリンタセッションでアプリケーションエラーが発生する場合がある現象を修正
発生条件	ホストからの印刷データが複数レコードで分割され、印刷データ待ち状態となりジョブクローズタイマーが動作した場合。
障害内容	アプリケーションエラーが発生し印刷できない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.15	エミュレータ監視ツールのプリンタ出力先とは異なるプリンタに印刷されることがある現象を修正
発生条件	プリンタセッション起動中に以下のいずれかの方法でプリンタ出力先を変更した場合。 ・「ツールパネル」-「エミュレータのプロパティ」でプリンタ定義の「基本設定」-「出力先」が「通常使うプリンタ」に設定された状態で、Windows の「デバイスとプリンター」から既定のプリンタを変更 ・「ツールパネル」-「エミュレータのプロパティ」から、プリンタ定義の「基本設定」-「出力先」の設定を変更
障害内容	エミュレータ監視ツールに表示されているプリンタ出力先と異なるプリンタに印刷される。
アップデート 未実施時の 回避策	プリンタセッション起動中に、プリンタ出力先を変更しない。

No.16	<p>UPF 設定ツールで以下の設定を変更後に、インストール後から変更されていない「UPFTBL32.UPF」ファイルを読み込むと、読み込み前の設定内容が表示されたままになる現象を修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コメント欄</li> <li>・ UPF 使用数</li> <li>・ UPF パッドオートサイジング</li> <li>・ UPF パッドコメント表示</li> </ul>
発生条件	<p>以下の設定を変更後に、インストール後から変更されていない「UPFTBL32.UPF」ファイルを読み込んだ場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コメント欄</li> <li>・ UPF 使用数</li> <li>・ UPF パッドオートサイジング</li> <li>・ UPF パッドコメント表示</li> </ul>
障害内容	読み込み前に設定した内容が表示されたままとなる。
アップデート未実施時の回避策	設定内容を「消去」ボタンで消去する。

No.17	<p>エミュレータのプロパティの接続先設定のリストで、行をダブルクリックしても通信設定画面が開かない現象を修正</p>
発生条件	<p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エミュレータのプロパティの接続先設定に複数の定義が存在</li> <li>・ 接続先設定のリストで現在選択されている行より下の行を選択後、選択した行より上の行をダブルクリック</li> </ul>
障害内容	接続先設定のリストで行をダブルクリックしても通信設定画面が開かない。
アップデート未実施時の回避策	接続先設定のリストで行を選択後、「更新」ボタンを押下する。

No.18	エミュレータのプロパティ「通信設定」で、「F1」キー、または「SHIFT」+「F1」キーを押下するたびに状況依存ヘルプの表示位置がずれる現象を修正
発生条件	エミュレータのプロパティ「通信設定」で、「F1」キー、または「SHIFT」+「F1」キーを押下して状況依存ヘルプを表示した場合。
障害内容	状況依存ヘルプの表示対象から離れた位置に状況依存ヘルプが表示される。
アップデート 未実施時の 回避策	ツールバーの「↑?(ヘルプ)」ボタンを使用して状況依存ヘルプを表示する。

No.19	エミュレータ監視ツールで表示内容を更新するとアプリケーションエラーになることがある現象を修正
発生条件	エミュレータ監視ツールで、「F5」キーを押下して表示内容を更新した場合。
障害内容	エミュレータ監視ツールが操作中に突然終了する。 プリントサーバの動作に影響はない。
アップデート 未実施時の 回避策	エミュレータ監視ツールの表示内容の更新に、「F5」キーではなく、「自動更新」機能を使用する。

No.20	コードテーブル設定のオンラインヘルプ、および状況依存ヘルプの誤記を修正
変更内容	<p>【オンラインヘルプ】 ホストコードと PC コードの割り当てについて、1 対 1 の対応関係をもとにした説明を、1 つのホストコードに複数の PC コード、あるいは 1 つの PC コードに複数のホストコードの対応関係をもとにした説明に修正。</p> <p>【状況依存ヘルプ】 ホストコードと PC コードの割り当てについて、1 対 1 の対応関係をもとにした説明を削除。</p>
参照先	<p>【オンラインヘルプ】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「コードテーブル設定」－「ダイアログの各設定項目」－「[登録]ボタン」</li><li>・「コードテーブル設定」－「ダイアログの各設定項目」－「[削除]ボタン」</li></ul> <p>【状況依存ヘルプ】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「コードテーブル設定」－「[削除]ボタン」</li></ul>

6680 プリントサーバ

TCPLink 接続

Ver5.04-02

リリースメモ

Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

## 目次

[Ver.5.04-02 での変更内容].....	1
---------------------------	---

[Ver.5.04-02 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	以下の OS に対応 ・ Windows Server 2016 Standard ・ Windows Server 2016 Datacenter ・ Windows Server 2019 Standard ・ Windows Server 2019 Datacenter	機能追加	システム全般
2	以下の OS を動作対象から削除 ・ Windows Server 2008 Standard Edition SP2 ・ Windows Server 2008 Enterprise Edition SP2 ・ Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1 ・ Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition SP1	仕様変更	システム全般
3	Windows イベントログ (Application) に、プリントサーバシステムのイベントメッセージを出力する機能を追加 ・ 起動・終了 ・ 通信状態 ・ プリンタセッションのメッセージ情報 ・ プリントサーバシステム情報	機能追加	システム全般
4	プリントサーバシステムのサービス以外の実行モジュールが実行中の場合は、アンインストールできない仕様に変更	仕様変更	インストーラ/ アンインストーラ
5	サービスで起動中のプリントサーバをアンインストールする場合、サービスの停止、サービス登録の解除を行い、アンインストールを続行することが選択できる機能を追加	機能追加	インストーラ/ アンインストーラ



No	概要	VerUp 区分	変更区分
6	編集形式が「Windows プリンタドライバ (LBP)」で、メインフレームから用紙方向をLP モード以外で指定された場合、印刷する用紙サイズをプリンタドライバで設定されている用紙サイズから、メインフレームから指定された用紙サイズで印刷する機能を追加	機能追加	プリンタ セッション
7	編集形式が「Windows プリンタドライバ (LBP)」で、メインフレームから用紙方向をLP モードで指定された場合の仕様を変更 <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷する用紙サイズをプリンタドライバで設定されている用紙サイズから、A4 固定へ変更</li> <li>・最大印刷行数を 61 行から 62 行へ変更</li> <li>・先頭印刷ページに、改行(0x15)、改ページ(0x0C)、復帰(0x0D)の 2 バイトの組み合わせが指定された場合は、プリンタに出力しないように変更</li> </ul>	仕様変更	プリンタ セッション
8	富士通製 WSMGR で作成されたファイル転送パラメータリストファイルの読み込みと、ファイル転送中の WSMGR 形式での書き込みに対応	機能追加	ファイル転送

No	概要	VerUp 区分	変更区分
9	インストール時、「設定の確認」画面の [戻る] ボタンで「ショートカットを選択」画面に戻った場合、「ショートカットを選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る現象を修正	バグ修正	インストーラ/ アンインストーラ
10	プリントサーバのアンインストール失敗後、再びプリントサーバのアンインストーラを実行しようとしても、実行することができない現象を修正	バグ修正	インストーラ/ アンインストーラ
11	ホストリンクエクスプローラのプロパティで、「高度な設定」の「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスプローラ
12	ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
13	拡張漢字フォントをインストール後、PC を再起動せずにプリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
14	エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定後、プリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション

No	概要	VerUp 区分	変更区分
15	「エミュレータのプロパティ」－「通信設定」で、「FNAonTCP/IP 接続」－「接続先設定」の項目名” 接続先定義名” が表示されない現象を修正	バグ修正	ツール
16	「エミュレータのプロパティ」の「プリンタ定義」、または「ローカルコピー設定」の「基本設定」で、31 文字以上のプリンタ名を指定した場合、出力先プリンタのプロパティの設定が保存されない現象を修正	バグ修正	ツール
17	「サービス設定」ツールの画面で、項目名” パスワードの確認” の誤記を修正	バグ修正	ツール
18	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正	バグ修正	ツール
19	ガイドラインメッセージ「プログラムチェック 753」に関するヘルプの誤記を修正	説明修正	ヘルプ

No.9	インストール時、「設定の確認」画面の[戻る]ボタンで「ショートカットを選択」画面に戻った場合、「ショートカットを選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る現象を修正
発生条件	以下の操作を行った場合。 ①「ショートカットの選択」画面でチェックボックスをオフに変更 ②「設定の確認」画面に遷移 ③「ショートカットの選択」画面に戻る
障害内容	「ショートカットの選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る。
アップデート 未実施時の 回避策	「ショートカットの選択」画面で設定内容を再設定する。

No.10	プリントサーバのアンインストール失敗後、再びプリントサーバのアンインストールを実行しようとしても、実行することができない現象を修正
発生条件	プリントサーバのアンインストールを実行し、アンインストールに失敗した場合。
障害内容	プリントサーバのアンインストールができない。
アップデート 未実施時の 回避策	OS 再起動後、再インストールを行い、プリントサーバシステムがすべて停止した状態で、再度アンインストールを行う。

No.11	ホストリンクエクスプローラのプロパティで、「高度な設定」の「「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正
発生条件	ホストリンクエクスプローラのプロパティにある「高度な設定」の「カスタマイズ」タブで、「エミュレータのプロパティ」の表示」のチェックがオフの場合。
障害内容	「エミュレータのプロパティ」を非表示に設定できない。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.12	ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正
発生条件	「MS 明朝」のようなセリフ付きフォントが選択されている場合。
障害内容	ディスプレイの表示文字を拡大すると文字が粗く見える。
アップデート未実施時の回避策	フォントを「MS ゴシック」のようなセリフなしフォントに変更する。

No.13	拡張漢字フォントをインストール後、PC を再起動せずにプリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントサーバシステムをサービスで起動</li> <li>・エミュレータのプロパティのプリンタ定義で、拡張漢字フォントの使用を設定</li> <li>・拡張漢字フォントをインストール後、PC の再起動が未実施</li> </ul>
障害内容	印刷要求しても印刷されない。
アップデート未実施時の回避策	拡張漢字フォントをインストール後、PC の再起動を行う。

No.14	エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定後、プリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントサーバシステムをサービスで起動</li> <li>・エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定</li> </ul>
障害内容	印刷要求しても印刷されない。
アップデート未実施時の回避策	正しいコードテーブル差分ファイルを設定する。

No.15	「エミュレータのプロパティ」－「通信設定」で、「FNAonTCP/IP 接続」－「接続先設定」の項目名”接続先定義名”が表示されない現象を修正
発生条件	「エミュレータのプロパティ」－「通信設定」で、接続手順種別に「FNAonTCP/IP 接続」を選択し、「接続先設定」を表示した場合。
障害内容	項目名”接続先定義名(D)”が表示されない。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.16	「エミュレータのプロパティ」の「プリンタ定義」、または「ローカルコピー設定」の「基本設定」で、31 文字以上のプリンタ名を指定した場合、出力先プリンタのプロパティの設定が保存されない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・編集形式が「Windows プリンタドライバ」、または「Windows プリンタドライバ(LBP)」(プリンタ定義のみ)</li> <li>・プリンタ名が 31 文字以上</li> <li>・詳細設定の「セッション起動時に出力先プリンタ設定の反映」をチェックし、プリンタドライバ設定を保存</li> </ul>
障害内容	印刷時、プリンタドライバの設定が有効とならない。
アップデート未実施時の回避策	プリンタ名を 30 文字以内に変更する。

No.17	「サービス設定」ツールの画面で、項目名”パスワードの確認”の誤記を修正
発生条件	サービス設定「サービスの登録」、または「サービス設定の変更」画面を表示した場合。
障害内容	サービス設定「サービスの登録」画面、および「サービス設定の変更」画面の表示に誤記がある。 <誤> パスワードの確認(R) <正> パスワードの確認(R)
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.18	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正
発生条件	コードテーブル設定で以下の手順を実行した場合。 ①テーブルの最後の数文字（2バイトコード：2文字、1バイトコード：4文字）の割り当てを変更 ②「ファイル」メニューから「新規作成」を選択して差分ファイルを新規作成
障害内容	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう。
アップデート未実施時の回避策	「新規作成」で継続して設定を行う代わりに、一旦コードテーブル設定を再起動してから設定を行う。



No.19	ガイドラインメッセージ「プログラムチェック 753」に関するヘルプの誤記を修正
変更内容	「プログラムチェック 753」の説明に誤りがある。 <誤> SFE、MF 副コマンドで無効な属性または値が指定されています。 <正> SA、SFE、MF 副コマンドで無効な属性または値が指定されています。
参照先	リファレンスマニュアルの「オンラインヘルプ」－「ディスプレイセッション」－「ガイドラインメッセージ」－「プログラムチェック」の「プログラムチェック 753」

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

**6680プリントサーバ  
TCPLink接続  
バージョン 5.01 リビジョン01 /PS 変更内容について**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「6680プリントサーバ(TCPLink接続)」(Ver.4.10-01/PS→Ver.5.01-01/PS)  
において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

**[強化項目]**

以下の機能を強化しました。

**[システム全般]**

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
  - ・ Microsoft Windows Server 2003
  - ・ Microsoft Windows Server 2003 x64
  - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2
  - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2 x64

**[ホストリンクエクスプローラ機能関連]**

- ◎セッションを起動するショートカットをデスクトップに作成できるようにしました。

**[TCPLink 関連]**

- ◎接続手順種別が TN 接続の場合、エミュレータのプロパティの「通信設定」－「詳細設定」に「telnet キーブアライブ」を追加し、コマンドとタイマを設定できるようにしました。また、「キーブアライブ」を「TCP/IP キーブアライブ」に名称変更しました。

**[保守機能関連]**

- ◎「エミュレータ保守」の保守機能を強化しました。  
また、各種ツールの保守機能を「エミュレータ保守」に統合しました。
    - <主な機能>
      - ・各種トレースの採取設定
      - ・各種トレースの詳細設定（ファイルサイズ、ファイル数、採取レベル）
      - ・各種ログの採取
      - ・トレース／ログの総出力サイズ、および出力先ドライブの空き容量の表示
      - ・情報収集
- これにより、エミュレータのプロパティの「保守設定画面」は削除しました。

## [改修項目]

以下の問題点を改修しました。

### [インストーラ関連]

- 以下の OS でインストールパスを変更してインストールすると、スタート画面からホストリンクエクスペローラが起動できない。
  - Microsoft Windows Server 2012 Standard
  - Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
  - Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
  - Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter
- バージョンアップインストールを行うと、正常にインストールが完了しているにもかかわらず、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」というメッセージが表示されることがある。

### [ディスプレイ機能関連]

- ディスプレイセッションからディスプレイのプロパティを開き、[OK] ボタンでプロパティを閉じると、カーソル位置が反転したままになる。
- エミュレータのプロパティのディスプレイ定義でブリンクモードを「ブリンク」に設定した場合、選択した領域の、ブリンク文字の左／右／下に接している枠線が消える。
- UPF で以下の機能キーが動作しない。
  - AltCsr
  - Click
  - CrBnk
  - グラフ印刷
  - 挿入
  - 行桁表示
- ディスプレイのプロパティで「起動時のグラフィックマウス形状」を変更すると、表示されていたグラフィックマウスが通常のマウスカーソルに戻る。
- 漢字画面に対する EUA オーダ受信により、カーソルを移動させられない位置が発生する。
- 機能キーを登録した UPF キーをアサインした状態で実行されない機能キーある。

### [プリンタ機能関連]

- プリンタ定義で出力先を「通常使うプリンタ」に設定している場合に、プリンタセッションで「終了時の状態保存」を ON にしてプリンタセッションを終了し、OS の「通常使うプリンター」を削除／名称変更するとプリンタセッションが起動できない。
- 80 バイト以上のプリンタ名のプリンタを使用すると、アプリケーションエラーが発生する。  
※使用するプリンタのプリンタ名は、79 バイト以内で設定してください。
- 出力先プリンタに ClassDriver を設定した場合、プリンタセッションの起動に失敗する。

### [ユーティリティ関連]

- プリントジョブスケジューラ設定でプリントジョブ出力後の処理に「指定時間後に削除」を指定しているにもかかわらず、設定した指定時間を過ぎた情報が残ることがある。

#### [保守機能関連]

- ・レジストリ保守ツールで [ファイル出力] をした場合、以下の項目が出力されない。
  - ・IPv6
  - ・マクロコントローラの表示

#### [オンラインヘルプ]

- ・エミュレータ監視ツールのオプションダイアログで、状況依存ヘルプが表示されない項目がある。

#### [マニュアル関連]

- ・CJS 拡張漢字フォントを使用し、かつサービスで起動する場合、拡張フォントのインストール後にコンピュータの再起動が必要であることが記載されていない。

#### [制限事項]

- ・Ver.4.10-01/PS より前のバージョンのプリントサーバとの共存はできません。
- ・TCPLink スタンダード/DirectLink との共存はできません。

## [その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

### サーバ仮想化

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.5	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	Microsoft Windows Server 2008 Standard SP2	○	—
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○

○：確認済み —：対象外

### <前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作する必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

**6680プリントサーバ  
TCP Link 接続  
バージョン 4.10 リビジョン01 /PS 変更内容について**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「6680プリントサーバ(TCP Link 接続)」(Ver.4.02-01/PS→Ver.4.10-01/PS)  
において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

**[概要]**

- ・弊社社名変更に伴い、関連する表記を修正しました。

**[強化項目]**

以下の機能を強化しました。

**[システム全般]**

- ◎以下の OS に対応しました。
  - ・ Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
  - ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
- ※32 ビット版アプリケーションとして動作します。
- ※デスクトップ・アプリケーションとしての動作を保証します。
- ※Windows Server 2012 の Server Core 機能での動作には対応していません。
- ※Windows Server 2012 の最小サーバー・インターフェイス構成での動作は保証していません。

- ◎IPv6 に対応しました。

**[プリンタ機能関連]**

- ◎編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

代替文字

・ | (PC コード : 0x7F) → |

**[ディスプレイ機能関連]**

- ◎以下の機能キーをサポートしました。
  - ・ エミュレータ終了 (表記は「DSP 終了」)
- ※従来の「DSP 終了」キーは「DSP 強制終了」に名称を変更しました。
- ※以下の機能には対応していません。
  - ・ ディスプレイセッションのツールボタン
  - ・ UPF
  - ・ エミュレータキーパッド
- ◎ローカルコピーにおいて、編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の特殊文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

代替文字

・ | (PC コード : 0x7F) → |

## [ユーティリティ関連]

- ◎エミュレータのプロパティにおいて、通信設定の送受信バッファの初期値を「4096」に変更しました。
- ◎エミュレータのプロパティにおいて、ディスプレイ定義のカラー設定の初期設定でメインフレームメーカーの純正エミュレータと同じ色に設定できるようにしました。

## [改修項目]

以下の問題点を改修しました。

### [ディスプレイ機能関連]

- ・UPF キーパッドから「ジャンプ」キーまたは「前ジャンプ」キーが実行されると、セッションがハングアップする。
- ・UPF キーパッドのボタンが押下されると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・エミュレータキーパッドから機能キーの実行および文字の入力が行われると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・編集操作の切り取りが行われても、画面から切り取った部分を消去しない。
- ・ディスプレイ定義の文字モードに「ASCII 文字」が設定されていても、ローカルコピーでは「英数カナ文字」で印刷する。
- ・ローカルコピーで、ディスプレイ定義で設定された文字モードと異なる文字モードで印刷することがある。
- ・ディスプレイのプロパティでカラー設定のグラフィックカラーの設定が変更されても、セッションに表示中のグラフィックデータに変更内容を反映しない。
- ・ディスプレイのプロパティでグラフィック設定のグラフィックデータストリームでの解像度の設定が変更されても、セッションに変更内容を反映しない。
- ・アプリケーションに OLE オブジェクトとして埋め込んだセッションでキーが効かないことがある。
- ・アプリケーションに OLE オブジェクトとして埋め込んだセッションに入力された文字を画面が再描画されるまで表示しない。

### [ユーティリティ関連]

- ・リモート接続時など、エミュレータ監視ツールが二重起動されるとどちらも起動することがある。さらに、二重起動により、"HLEXPL32.EXE"のアプリケーションエラーが発生することがある。
- ・リモート接続時など、サービス設定ツールとエミュレータ監視ツールが同時に起動されるとどちらも起動することがある。
- ・エミュレータスタイルの設定のツールバータブにおいて、ショートカットキーが「Alt+B」、「Alt+R」の順に押下されると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・エミュレータスタイルの設定のツールバータブにおいて、以下のショートカットキーでフォーカスが正しく移動しない。
  - ・ Alt+L
  - ・ Alt+B
  - ・ Alt+T

- ・レジストリ保守ツールの印刷機能およびファイル出力機能で、ソフトウェアスイッチの情報を正しく出力しないことがある。

以 上

Microsoft および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。



お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

6680プリントサーバ  
TCPLink接続  
バージョン 4.02 リビジョン01 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「6680プリントサーバ(TCPLink接続)」(Ver.4.01-02/PS→Ver.4.02-01/PS)  
において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
  - ・ Windows 2000 Server

[TCPLink 関連]

- ◎FNAonTCP/IP 接続で、ローカル PU 番号を設定できるようにしました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[システム全般]

- ・ エミュレータが起動されたまま OS をシャットダウンすると、「プログラムが閉じられていません」のメッセージが表示され、メッセージ内の「強制的にシャットダウン」を選択するとアプリケーションエラーが発生する。

[TCPLink 関連]

- ・ FNAonTCP/IP 接続で、ホストへの接続・切断を繰り返すと、"NCP32.EXE"や"EMKRNL32.EXE"のアプリケーションエラーが発生する。
- ・ FNAonTCP/IP 接続で、セグメント分割されたデータを受信すると、"NCP32.EXE"のアプリケーションエラーが発生する。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で、管理者権限のないユーザがホストリンクエクスプローラを起動した状態でサービスの一覧から「Host Link Explorer」を開始すると、ホストリンクエクスプローラが二重起動する。

#### [プリンタ機能関連]

- ・以下の編集形式の場合に、タイムアウトまたはエンドブラケットにより印刷ジョブがクローズすると、クローズ前に受信したデータの最後の 1 行分が印刷されないことがある。
  - ・ESC/P
  - ・PC-PR201H
  - ・IBM5575/5577
  - ・テキスト

#### [ディスプレイ機能関連]

- ・ブリンクモードが“ブリンク”の場合に、ディスプレイセッションが応答しなくなることがある。
- ・Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で以下の条件をすべて満たす場合に、文字を入力すると、下線の一部や文字と隣り合った縦罫線が消えることがある。
  - ・Windows のデスクトップのカスタマイズで「ClearType」を有効にしている
  - ・エミュレータのディスプレイ定義で「直接描画方式」を指定している

#### [ユーティリティ関連]

- ・エミュレータのプロパティのディスプレイ定義で、コードテーブル定義の「JIS コード指定」が空欄になっていることがある。
- ・レジストリ保守で、レジストリの復元に失敗することがある。
- ・レジストリ保守で「Microsoft XPS Document Writer」に印刷すると、文字化けする。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

6680プリントサーバ  
TCPLink接続  
バージョン 4.01 リビジョン02 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「6680プリントサーバ(TCPLink接続)」(Ver.3.50-01/PS→Ver.4.01-02/PS)  
において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

概要

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下のOSに対応しました。
- ・ Windows Server 2008 Standard Edition
  - ・ Windows Server 2008 Standard x64 Edition
  - ・ Windows Server 2008 Enterprise Edition
  - ・ Windows Server 2008 Enterprise x64 Edition

[ユーティリティ関連]

- ◎リモートデスクトップ接続でも「コンソール・セッション」へ接続することなく、エミュレータ監視ツールを操作できるようにしました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ ホストリンクエクスプローラの非表示起動、またはエミュレータ終了時の自動終了を設定している場合、エミュレータ監視ツールから最後のセッションを終了した後、セッションが起動できなくなる。

[プリンタ機能関連]

- ・ 「プリンタセッション終了」のメッセージボックス表示中に、ディスプレイセッションからエミュレータ終了すると、アプリケーションエラーが発生する。

[ユーティリティ関連]

- ・ 異なるプリンタドライバを同じプリンタ名で入れ替えた場合、エミュレータのプロパティのプリンタ定義を開こうとすると、"Lodlib32.exe"のアプリケーションエラーが発生する。

以上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

**6680プリントサーバ**  
**DirectLink HIS対応版**  
**バージョン 4.01 リビジョン02 /PS 変更内容について**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「6680プリントサーバ (DirectLink HIS 対応版)」  
(Ver.2.50-01/PS→Ver.4.01-02/PS) において、下記のような改修を行いましたので  
お知らせ致します。

敬具

**概要**

**[強化項目]**

以下の機能を強化しました。

**[ユーティリティ関連]**

- ◎リモートデスクトップ接続でも「コンソール・セッション」へ接続することなく、エミュレータ監視ツールを操作できるようにしました。

**[改修項目]**

以下の問題点を改修しました。

**[ホストリンクエクスプローラ機能関連]**

- ・ホストリンクエクスプローラの非表示起動、またはエミュレータ終了時の自動終了を設定している場合、エミュレータ監視ツールから最後のセッションを終了した後、セッションが起動できなくなる。

**[プリンタ機能関連]**

- ・「プリンタセッション終了」のメッセージボックス表示中に、ディスプレイセッションからエミュレータ終了すると、アプリケーションエラーが発生する。

**[ユーティリティ関連]**

- ・異なるプリンタドライバを同じプリンタ名で入れ替えた場合、エミュレータのプロパティのプリンタ定義を開こうとすると、"Lodlib32.exe"のアプリケーションエラーが発生する。

以上